

塩谷南那須版 乾田直播栽培暦Ver1.0(品種:とちぎの星) 令和8(2026)年2月 塩谷南那須農業振興事務所経営普及部
 ※管内事例や農研機構マニュアル等を参考に作成

月旬	11~2月	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																				
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																		
生育ステージ		← 播種期						← 出芽			← 最高分げつ期			← 出穂期			← 成熟期																										
主な作業	反転耕(プラウ)※1	砕土(パワーハロー等)			ほ場均平化(レベラー)			あぜ塗り			鎮圧(ケンブリッジ等)※2			播種※3			鎮圧(ケンブリッジ等)※2			播種後除草剤※4			一時通水			茎葉処理除草剤※5			入水			中期除草剤※6			(必要に応じて) 中干し			病害虫防除(斑点米カメムシ類等)			収穫・調製		
	※1 ほ場を乾かして機械の沈み込み防止 前作残渣を土中埋没し腐熟促進 スタブルカルチでも可能 ※2 播種前鎮圧の目的: 播種床造成、目安はかかとで踏んで5cm沈む程度 播種後鎮圧の目的: 発芽の安定と良好な出芽揃い 漏水防止、除草剤の効果安定化 ※3 播種量: 5~6kg/10a (乾粃) 播種深: 2.5cm程度 条間: 15~30cm ※地力が低いほ場では密植にする																																										
水管理	種子に水分を供給し 出芽を促進 1.5葉期以降に入水 入水直後は苗が水没して 枯死しないよう浅水管理 5cm程度で維持 間断かん水 落水																																										
施肥	基肥 N:7~10kg/10a ※施肥例 BB直播一発新時代30~40kg/10a (地力に応じて加減)																																										
防除暦(例)	種子コーティング剤 ・キヒゲンR-2フロアブル (鳥害、ばか苗病等) ・ルーチンシードFS (殺菌剤: いもち病) ・エバーゴルシードFS (殺菌剤: 紋枯病) ・ヨーバルシードFS (殺虫剤)						※4 播種後出芽前除草剤 <非選択性除草剤> ・ラウンドアップマックスロード <土壌処理剤> ・マーシェット乳剤(効果と安全性の点から播種後5日以降、稲出芽前までの使用とする)						※5 選択性茎葉処理除草剤 ・クリンチャーEW ・ノミニー液剤 ・クリンチャーバスME液剤 注 上記の薬剤処理後、10日以上置いて効果が見られない場合は薬剤の使用回数を確認した後、茎葉処理剤の散布を再度行う。 ・トドメMF乳剤 ・ロイアント乳剤(1.5葉期以降)						※6 中期除草剤 ・アクシズMX1キロ粒剤 ・ゲパード各剤型 ・ボデーガードプロ各剤型 ・カウンシルコンプリート各剤型 ・レブラス各剤型 ※処理後3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない						病害虫防除 ・斑点米カメムシ類防除 ・いもち病防除 ※移植栽培と同じ																		
備考	・乾田直播が向くほ場条件: ①漏水しにくい(減水深2.0cm/日以下)、②雑草が少ない、③細粒土 ※黒ボク土は播種前後の鎮圧が必須 ・除草剤は「直播水稻」に登録がある剤が使用可能。※農作物には登録農薬を使用し、使用基準を必ず遵守しましょう 農業登録情報: R8.2.24現在																																										